

病院長補佐(経営担当)のご紹介



篠原 義明
(しのはら よしあき)
病院長補佐
(経営担当)

徳島大学病院に着任してはじめに感じたことは、当院のスタッフが大きな熱意を持って仕事に取り組んでいるということです。当院を受診される患者さんと真摯に向き合い、病気の治療のために日々奔走しています。患者さんが安心して受診できる病院であり続けるため、病院経営の一助になりたいと考えています。

平成29年1月1日、経営担当の病院長補佐として篠原義明さんが着任しました。篠原病院長補佐は、38年にわたって融資・決算・分析などの業務を銀行で担ってきた経営の専門家です。当院での業務は、原価計算という方法で効率化を考えたり、将来の施策を踏まえてシミュレーションを行ったり、病院の経営という観点で組織を改善するための業務に携わっています。例えば、他の大学病院と当院を比較し、当院の強みや弱点を洗い出して、具体的な改善策を考えることもあります。改善策のアイデアは、民間の銀行で「利益」というものを追求してきた経験が活かされています。

高度な医療を安心・安全に提供するためには、強い財政基盤を持つことが必要不可欠です。近い将来、少子高齢化にともなう人口減少で、当院をはじめとする病院を取り巻く環境はますます厳しくなると予想されます。そういった厳しい状況の中でも、健全な経営を行うことができるように、当院の運営には経営担当の病院長補佐が必要不可欠です。

